

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・数学	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	国語	(知)身近な言葉や素材に触れて、物事のイメージを広げる。 (思)物語や詩を通じて、様々な言葉や表現に触れる。伝えたい気持ちや思いを育て、コミュニケーションの幅を広げる。 (学)生徒がそれぞれの課題に主体的に取り組む。			
	数学	(知)身近な形や数唱について知ることができる。 (思)数、形、量の違いを感じることができる。 (学)主体的に教材に触れることができる。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等			
担当教職員	教員:戸澤理乃、松木克美、島田篤弘、清宮衛介、川越奈都美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子、平田篤子				
使用教科書	五味太郎・言葉図鑑⑦たとえのことば(偕成社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	物語や詩に親しもう① (訪問)	6	○春や夏に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ○物語や詩の読み聞かせを聞き再現活動を行う。 ◆物語や詩の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)四季について知ることができる。 (思)言葉のリズムや響きを感じ、教材に触れることができる。 (主)積極的に物語や詩を見たり聞いたりすることができる。
	5	図書室に行こう①	8	○公共の場でのルールやマナーを学ぶ。 ○春や夏に関連した本を探す。 ○自分の興味関心のある本を探す。 ◆図書室の利用に親しみ、本を見たり選んだりする活動に関わる。	(知)図書室でのルールやマナーを知ることができる。 (思)季節に関連する本を探すことができる。 (主)自分の興味関心のある本を探すことができる。
	6	身近な言葉や数量・形 (訪問)	9	○身近な物の名前や数唱について学ぶ。 ○基本的な数、形、量を体験し、知る。 ◆身近な数量や形に触れ、数えたり分類したりする活動に取り組む。	(知)身近な物の名前や数唱について知ることができる。 (思)数、形、量の違いを感じることができる。 (主)主体的に教材に触れることができる。
	7	個別・小集団課題学習①	4	○スイッチ課題、プットイン課題、積み木等、個に応じた課題に取り組む。 ◆スイッチを押す、物を入れる活動に取り組む、因果関係に触れる。	(知)課題に必要な基本的なやり方や操作を理解している。 (思)自分なりのやり方を、工夫して課題に取り組むことができる。 (主)課題を最後までやり遂げることができる。
二学期	9	夏休みの思い出を発表しよう やり取りの中の言葉や数量・形	5	○夏休みの記録をもとに、発表する。 ○教員や友人とのやり取りを通して、言葉・数量・形について学ぶ。物の操作等を行う。 ◆夏休みの思い出を思い出し、言葉や写真などで表したり伝えたりする。	(知)身近な物の名前や数唱について知ることができる。 (思)教員や友人とのやり取りを通して、数、形、量の違いを感じることができる。 (主)主体的に教材に触れることができる。
	10 前半	物語や詩に親しもう② (訪問)	2	○秋に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ○物語や詩の読み聞かせを聞き再現活動を行う。 ◆物語や詩の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)四季について知ることができる。 (思)言葉のリズムや響きを感じ、教材に触れることができる。 (主)積極的に物語や詩を見たり聞いたりすることができる。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	図書室に行こう②	6	○公共の場でのルールやマナーを学ぶ。 ○読書週間中に自分の興味関心のある本を探す。 ◆図書室の利用に親しみ、本を見たり選んだりする活動に関わる。	(知)図書室でのルールやマナーを知ることができる。 (思)テーマに関連する本を探すことができる。 (主)自分の興味関心のある本を探すことができる。
	11	個別・小集団課題学習②	6	○スイッチ課題、プットイン課題、積み木等、個に応じた課題に取り組む。 ◆スイッチを押す、物を入れる活動に取り組み、因果関係に触れる。	(知)課題に必要な基本的なやり方や操作を理解している。 (思)自分なりのやり方など、工夫して課題に取り組むことができる。 (主)課題を最後までやり遂げることができる。
	12	物語や詩に親しもう③ (訪問)	7	○冬に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆物語や詩の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)四季について知ることができる。 (思)言葉のリズムや響きを感じ、教材に触れることができる。 (主)積極的に物語や詩を見たり聞いたりすることができる。
三 学 期	1	書初め (訪問)	6	○今年の抱負や頑張りたいこと、好きな言葉などから書きたい言葉を選び、書き初めに取り組む。 ◆書き初めに親しみ、筆や用具を使って書く活動に取り組む。	(知)書道の道具の使い方について知ることができる。 (思)教職員とコミュニケーションを取りながら、自分の好きな言葉や書きたい言葉を決めて書くことができる。 (主)書いたものの中から、一番気に入ったものを選ぶことができる。
	2	物語や詩に親しもう④	7	○教科書に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆物語や詩の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)教科書の内容について知ることができる。 (思)言葉のリズムや響きを感じ、教材に触れることができる。 (主)積極的に教科書に出てくる言葉を見たり聞いたりすることができる。
	3	個別・小集団課題学習③	6	○スイッチ課題、プットイン課題、積み木等、個に応じた課題に取り組む。 ◆スイッチを押す、物を入れる活動に取り組み、因果関係に触れる。	(知)課題に必要な基本的なやり方や操作を理解している。 (思)自分なりのやり方など、工夫して課題に取り組むことができる。 (主)課題を最後までやり遂げることができる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・追視・注視しやすいよう、ゆっくと時間をかけて教材を提示する。また、色は背景色などを考慮しながら、青や赤などの見やすい色を使用する。 ・ICT機器等を活用し、視覚的に分かりやすい工夫をする。 ・個々の実態に合わせた教材を使用する。 		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けようとしている。				
	(思)音や音楽に気付きながら関心や興味をもって活動できる。				
年間指導目標	(学)音楽経験を生かして生活を楽しいものになろうとしている。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:清宮衛介、島田篤弘、松木克美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子 平田篤子 横山敦子(訪問)				
使用教科書	クラス合唱用MYSONG 6訂版(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	楽器を演奏しよう① (訪問)	6	○器楽(ギター・ウクレレ) ◆弦楽器に親しみ、基本的な演奏方法を身に付ける。	(知)弦楽器の基本的な演奏方法を知ることができる。 (思)自分の出したい音を自分なりの方法で表現することができる。 (主)教師や友人の演奏に興味をもって鑑賞することができる。
	5	楽器を演奏しよう①	6	○器楽(ギター・ウクレレ) ◆教師の合図に合わせて演奏し、表現する楽しさを味わう。	(知)教師の合図に合わせて弦楽器を演奏することができる。 (思)楽器で音の強弱や簡単なリズムを表現しようとするすることができる。 (主)自ら進んで弦に触れることができる。
	6	楽器を演奏しよう② (訪問)	8	○器楽(琴・鈴) ◆琴の音色に親しみ、基本的な演奏方法を知る。	(知)琴の基本的な演奏方法を知ることができる。 (思)強弱などの音色の違いに気が付き、興味を示すことができる。 (主)教師や友人の演奏に興味をもって鑑賞することができる。
	7	楽器を演奏しよう②	6	○器楽(琴・鈴) ◆教師の合図に合わせて演奏し、音の強弱を表現する。	(知)教師の合図に合わせて琴の弦を弾くことができる。 (思)簡単な強弱をつけて音の表現をすることができる。 (主)自ら積極的に琴を演奏することができる。
二学期	9	楽器を演奏しよう③ (訪問)	8	○器楽(カホン・タンバリン) ◆打楽器に親しみ、基本的な演奏方法を身に付ける。	(知)カホンの基本的な演奏方法を知ることができる。 (思)自分の出したい音を自分なりの方法で表現することができる。 (主)教師や友人の演奏に興味をもって鑑賞することができる。
	10前半	楽器を演奏しよう③	2	○器楽(カホン・タンバリン) ◆教師の合図に合わせて演奏し、リズムを表現する。	(知)教師の合図に合わせてウクレレを演奏することができる。 (思)弦を押さえて音や強弱を変えることができる。 (主)自ら積極的にウクレレを演奏することができる。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	楽器を演奏しよう③	4	○器楽(カホン・タンバリン) ◆積極的に打楽器を演奏し、音の強弱を表現する。	(知) 教師の合図に合わせてウクレレを演奏することができる。 (思) 弦を押さえて音や強弱を変えることができる。 (主) 積極的にウクレレを演奏することができる。
	11	楽器を演奏しよう④ (訪問)	6	○器楽(ボンゴ・マラカス) ◆様々な打楽器に親しみ、演奏方法を知る。	(知) ボンゴやマラカスの演奏方法を知ることができる。 (思) 2種類の楽器から演奏したい楽器を選び取ることができる。 (主) 教師や友人の演奏を興味をもって鑑賞することができる。
	12	楽器を演奏しよう④	8	○器楽(ボンゴ・マラカス) ◆教師の合図に合わせて演奏し、リズムや強弱を表現する。	(知) 教師の合図に合わせて楽器を演奏することができる。 (思) 音に強弱や簡単なリズムをつけながら楽器を演奏することができる。 (主) 進んで楽器を演奏することができる。
二 学 期	1	合奏をしよう 卒業ソングを歌おう (訪問)	2	○卒業ソングの歌唱・鑑賞 ○器楽(合奏) ◆曲の雰囲気を感じ取り、声や楽器で表現する楽しさを味わう。	(知) 歌唱や合奏を通して、曲に合った発声や演奏方法を身に付けることができる。 (思) 曲の雰囲気を感知取り、声や身体表現で表そうとしている。 (主) 音楽鑑賞に親しみ、友人と関わりながら意欲的に音楽を楽しむことができる。
	2	合奏をしよう 卒業ソングを歌おう	8	○卒業ソングの歌唱・鑑賞 ○器楽(合奏) ◆友人と関わりながら合奏を楽しみ、曲に合った演奏方法を身に付ける。	(知) 歌唱や合奏を通して、曲に合った発声や演奏方法を身に付けることができる。 (思) 曲の雰囲気を感知取り、声や身体表現で表そうとしている。 (主) 音楽鑑賞に親しみ、友人と関わりながら意欲的に音楽を楽しむことができる。
	3	合奏をしよう 卒業ソングを歌おう	8	○卒業ソングの歌唱・鑑賞 ○器楽(合奏) ◆音楽鑑賞に親しみ、意欲的に歌唱や合奏に取り組む。	(知) 歌唱や合奏を通して、曲に合った発声や演奏方法を身に付けることができる。 (思) 曲の雰囲気を感知取り、声や身体表現で表そうとしている。 (主) 音楽鑑賞に親しみ、友人と関わりながら意欲的に音楽を楽しむことができる。
そ の 他	通 年	・はじまりとおわりの歌を歌おう。 ・発声練習をしよう。 ・季節の歌を歌おう。 (訪問)		○はじまりの歌・おわりの歌 ○発声練習 ○季節の歌の歌唱・鑑賞 ◆毎時間の歌や鑑賞に親しみ、自分なりの発声で表現する。	(知) 発声練習を通して、自分なりの発声の仕方を身に付け、歌唱に生かすことができる。 (思) 季節の歌の雰囲気を感知取り、自分なりの声や身体表現で表すことができる。 (主) 毎時間の歌や鑑賞に親しみ、意欲的に音楽活動に参加することができる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、その時使用する教材や生徒に合わせた補助具を用意する。 ・授業のスライドはモニターを使用して映す。本時の流れが分かるホワイトボードも併せて使用する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	美術	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	76 単位時間
年間指導目標	(知)色や形の違いや変化など造形的な見方について理解するとともに、表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (思)造形的なよさや美しさ、表現方法の工夫などについて考え、自分なりのイメージをもって表現ができるようにする。 (学)創造活動の喜びを味わい、意欲的に美術の活動に取り組みことができるようにする。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:川越菜都美、島田篤弘、松木克美、清宮衛介、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子、平田篤子				
使用教科書	科学シリーズ いっしょにつくろう 絵本の世界をひろげる 手作りおもちゃ(福音館書店)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	【絵画】 季節の飾り	8	○春をイメージした飾りの制作(共同作品) ◆にじみ絵の技法で春を表現することができる。	(知)絵の具の色が美しく広がることを理解する。 (思)自分なりの春のイメージをもって表現することができる。 (主)にじみ絵の技法を楽しみ、進んで活動に取り組む。
	5	【デザイン】 色彩構成 (訪問)	16	○デジタル機器を使い、ドローイングした作品や撮影した写真を再構成し、模様をデザインする ◆デジタル機器を使い、好きな色や形でデザインすることができる。	(知)色を変化させたり、模様を描いたりできることを知る。 (思)好きな色や形を選び、自分なりのイメージをもって表現する。 (主)ドローイングを楽しみ、進んで活動に取り組む。
	6				
	7	【絵画】 季節の飾り	6	○夏をイメージした飾りの制作(共同作品) ◆ローラーや筆を使って着色し、夏を表現することができる。	(知)ローラーや筆を使って工夫して着色することができる。 (思)自分なりの夏のイメージをもって表現することができる。 (主)自ら手を動かし、ローラーや筆で着色する感覚を味わう。
二 学 期	9	【立体造形】 塑像 (訪問)	8	○粘土で野菜や果物を制作する ◆塑像の作り方を理解し、粘土の感触を味わいながら、制作活動に取り組む。	(知)塑像の作り方を理解し、道具を使う等工夫し制作する。 (思)自分なりに野菜や果物をイメージし、表現する。 (主)粘土の感触を味わいながら、意欲的に活動する。
	10 前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	【立体造形】 塑像 (訪問)	4	○粘土で野菜や果物を制作する ◆塑像の作り方を理解し、粘土の感触を味わいながら、制作活動に取り組む。	(知) 塑像の作り方を理解し、道具を使う等工夫し制作する。 (思) 自分なりに野菜や果物をイメージし、表現する。 (主) 粘土の感触を味わいながら、意欲的に活動する。
	11	【絵画】 季節の飾り	8	○秋をイメージした飾りの制作(共同作品) ◆ちぎり絵で秋を表現することができる。	(知) ちぎった色画用紙を工夫して貼り合わせることで作品を制作できる。 (思) 自分なりの秋のイメージをもって表現することができる。 (主) 紙をちぎる感触を味わいながら、意欲的に活動する。
	12	【絵画】 干支 (訪問)	8	○筆を使って、来年の干支を描く ◆墨の濃さや筆の動かし方を意識し、墨の匂いや筆で描く感触を味わいながら描くことができる。	(知) 墨の濃さや筆の動かし方を意識して制作できる。 (思) 自分なりに干支をイメージして表現する。 (主) 墨の匂いや筆で描く感触を味わって制作する。
二 学 期	1	【絵画】 季節の飾り	6	○冬をイメージした飾りの制作 ◆スパッタリングやコラージュの技法で冬を表現することができる。	(知) 写真や絵を貼り合わせることで表すことができる。 (思) 自分なりの冬のイメージをもって表現することができる。 (主) 写真や絵を楽しみながら選び、意欲的に活動する。
	2	【工芸】 染色 (訪問)	12	○しぼり染めの技法で、ハンカチや袋などを染める。 ◆染まる様子やできた模様を楽しみながら、制作することができる。	(知) 染め方の違いで模様のでき方が違うことが分かる。 (思) 模様のでき方を試しながら、自分なりのイメージをもって制作する。 (主) 染まる様子やできた模様を楽しみながら活動する。
	3				
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態等に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるようにする。 イメージをもちやすいよう、制作をする前に制作物に関連した映像を鑑賞するようにする。 共同作品を制作する際は、制作物の全体像を伝えた後、自分のやりたい役割を決めるようにする。 活動の前に手本やスライド等で制作の工程を分かりやすく示す。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)活動を通して、運動機能の維持、向上を図る。				
	(思)集団での活動を通して、友達や教職員と関わり、コミュニケーション能力の向上を図る。				
	(学)身体を動かすことを楽しみ、主体的に活動できるようになる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:松木克美、島田篤弘、戸澤理乃、清宮衛介、川越奈都美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子 平田篤子				
使用教科書	[改訂新版]イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子どもとマスターする45の操体法(合同出版)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	身体を動かそう (訪問)	6	○身体伸展、体のリラックス ◆身体をリラックスさせ、体を動かす楽しさや心地よさを感じる。	(知)身体の動かし方など基本的な運動の動きを身に付ける。 (思)自分の体の動きや活動の様子を感じとる。 (主)自分のペースで参加したり、体を動かす楽しさや達成感を味わう。
	5	リレー走の練習 (訪問)	6	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を繰り返し練習して、達成できるようにする。 ◆見る・触れる・動かすなどの感覚を活用して活動する。	(知)支援を受けながらバトンを渡す等、個々の課題に応じた体の動きができる。 (思)言葉掛けや合図に反応しながら自分なりの動きで表現する。 (主)教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わう。
	6	リレー走の練習	8	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を繰り返し練習して、達成できるようにする。 ◆見る・触れる・動かすなどの感覚を活用して活動する。	(知)支援を受けながらバトンを渡す等、個々の課題に応じた体の動きができる。 (思)言葉掛けや合図に反応しながら自分なりの動きで表現する。 (主)教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わう。
	7	水泳	4	○水慣れ。浮遊。 ◆水中で体の緊張を緩める。	(知)支援を受けながら浮力を感じたり手足を動かし、浮力を感じたり、水中で手足を動かしたりする。 (思)水中での体の動きを感じ、表情やしぐさで気持ちを表す。 (主)水に親しみをもって活動に参加し浮力の心地よさを感じる。
二 学 期	9	水泳	10	○水慣れ。浮遊。 ◆水中で体の緊張を緩める。	(知)支援を受けながら浮力を感じたり手足を動かしたりして、浮力を感じたり、水中で手足を動かしたりする。 (思)水中での体の動きを感じ、表情やしぐさで気持ちを表す。 (主)水に親しみをもって活動に参加し浮力の心地よさを感じる。
	10 前半	武道 (訪問)	2	○剣道 ◆剣道具に触れたり、音や動きを感じたりしながら、活動に親しむ。	(知)竹刀や防具に触れたり、打つ動作を体験したりしながら活動を知る。 (思)竹刀を打つ感覚や自分なりの動かし方を工夫する。 (主)体を動かしたり「礼」で相手と関わったりする楽しみを感じる。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	武道(剣道)	3	○剣道 ◆剣道具に触れたり、音や動きを感じたりしながら、活動に親しむ。	(知)竹刀や防具に触れたり、打つ動作を体験したりしながら活動を知る。 (思)竹刀を打つ感覚や自分なりの動かし方を工夫する。 (主)体を動かしたり「礼」で相手と関わったりする楽しみを感じる。
	11	ラグビー	7	○タグラグビー ◆ボールのパスやタグ取りなど、それぞれの方法で取り組む。	(知)活動に親しみながらタグやボールに触れたり転がしたりできる。 (思)プレーがうまくできた時に、表情や声で表そうとする。 (主)支援を受けながらも、自分の意志やペースで参加しようとする。
	12	ラグビー	7	○タグラグビー ◆ボールのパスやタグ取りなど、それぞれの方法で取り組む。	(知)活動に親しみながらタグやボールに触れたり転がしたりできる。 (思)プレーがうまくできた時に、表情や声で表そうとする。 (主)支援を受けながらも、自分の意志やペースで参加しようとする。
三 学 期	1	ボッチャ (訪問)	5	○ボールを押し出す。転がす。 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。	(知)自分に合った方法でボールを転がすことができる。 (思)動きや表情、視線で思いを伝える。 (主)ボールが動いたり、目標に近づいたりすることを感じ取り、嬉しさや興味を表す。
	2	ボッチャ	7	○ボールを押し出す。転がす。 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。	(知)自分に合った方法でボールを転がすことができる。 (思)動きや表情、視線で思いを伝える。 (主)ボールが動いたり、目標に近づいたりすることを感じ取り、嬉しさや興味を表す。
	3	まとめの活動 (訪問)	7	○1, 2学期の活動の振り返り。 ◆写真や道具をみたり、楽しかった活動をしたりして活動を振り返る。	(知)好きな運動や動きを楽しむことができる。 (思)「できた」「嬉しい」などの思いを表情で表す。 (主)身体のいろいろな使い方を振り返り、楽しみながら身体を動かすことができる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に合った教材を準備する。 ・個々に合わせて適切に課題を設定する。 ・健康状態に合わせて活動時間を設定し、活動中の疲労や体調変化に注意する。 		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	
教科等名	特別活動	グループ名		年間授業時数	39 単位時間
年間指導目標	(知)友達や教職員との関わりの中で、コミュニケーションの基本を身に付ける。 (思)仲間と協力しながら、自分の役割を考えて行動する。 (学)活動に積極的に参加し、最後までやり遂げる力を身に付ける。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:新田真、松木克美、島田篤弘、戸澤理乃、清宮衛介、川越菜都美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:阿部由香梨、影山純子、平田篤子				
使用教科書	なし				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	高2のスタート (訪問)	3	○2年生の集団の紹介、1年間の行事紹介、係決め、レクリエーション ◆新しい教職員の名前を覚え、進んで関わる。	(知)新しい教職員や友達の名前を覚える。 (思)自己紹介で自分を表現する。 (主)新しい教職員や友達に興味をもち、進んで関わる。
	5	仲間と一緒に活動しよう	4	○レクリエーション活動(個人戦) ◆友達と一緒に積極的に活動に取り組む。	(知)レクリエーションの内容を理解する。 (思)友達が頑張っている姿を見て、応援をする。 (主)レクリエーション活動に積極的に参加する。
	6	仲間と協力して活動しよう	4	○レクリエーション活動(チーム対抗戦) ◆友達と協力して活動することができる。	(知)チームでの活動を理解する。 (思)役割分担や作戦を話し合い、決定する。 (主)仲間と協力して活動する喜びを感じる。
	7	1学期のまとめ (訪問)	3	○1学期の振り返り ◆1学期の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。	(知)1学期に行った活動を思い出す。 (思)シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主)自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
二 学 期	9	修学旅行に向けて	4	○修学旅行に向けた準備 ◆宿泊先や見学先、日程を知り、自分に合った係を選ぶことができる。	(知)宿泊先や見学先、日程を知る。 (思)自分に合った役割を考え、係の仕事を選ぶ。 (主)修学旅行に興味をもち、意欲的に準備に取り組む。
	10 前半	修学旅行に向けて	2	○修学旅行に向けた準備 ◆宿泊先や見学先、日程を覚え、係の仕事の準備をすることができる。	(知)宿泊先や見学先、日程を覚える。 (思)自分の役割を考え、係の仕事の準備をする。 (主)修学旅行に興味をもち、意欲的に準備に取り組む。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	修学旅行を振り返ろう	2	○修学旅行の振り返り ◆修学旅行での活動を思い出しながら、ポスターを制作し、楽しかったことや頑張ったことを発表することができる。	(知) 自分の行った活動を思い出すことができる。 (思) 楽しかったことや頑張ったことを発表する。 (主) 興味をもってポスターを制作したり、発表したりする。
	11	体験実習に向けて	4	○体験実習に向けた準備 ◆体験実習の活動内容や流れ、気を付けることを知り、目標を考えることができる。	(知) 体験実習の内容や流れ、気を付けることを知る。 (思) 体験実習の目標を考え、カードに書く。 (主) 実習に向けて意欲を高める。
	12	2学期のまとめ (訪問)	4	○2学期の振り返り ◆2学期の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。	(知) 2学期に行った活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
二 学 期	1	仲間と一緒に活動しよう	3	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。
	2	体験実習を振り返ろう	3	○体験実習の振り返り ◆体験実習での活動内容や頑張ったことを思い出し、発表することができる。	(知) 体験実習での活動内容や頑張ったことを思い出す。 (思) 活動内容や頑張ったことを発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
	3	1年間のまとめ (訪問)	3	○1年間の振り返り ◆1年間の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。	(知) 1年間の活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・学年の友達や教職員を意識できるように、適宜、集団での活動を設定する。 ・事前学習や振り返り、まとめの際は、写真等を使い、視覚化する。 ・まとめや振り返り際には、まとめたポスターやシートを基に、一人一人発表する場面を設定する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	445 単位時間
年間指導目標	(知)身体の動きや感覚の調整、生活動作の習得など、生活の自立に必要な技能を身に付ける。				
	(思)教員との関わりを深める中で心理的な安定を図り、コミュニケーション能力を高める。				
	(学)自分にできることを増やし、前向きに生活や学習に取り組む態度を育てる。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:島田篤弘、戸澤理乃、松木克美、清宮衛介、川越菜都美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子、平田篤子				
使用教科書	なし				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)		
					(知)知識・技能	(思)思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度	(主)主
一学期	4	《通年》 個に応じた取り組み	39	●自立活動(教室) 1 健康の保持 ○体位変換やストレッチ ○姿勢の保持 ○水分補給 ○排せつ ○排痰 ○医療的ケア ◆健康を保持するために必要な能力を身に付ける	1 健康の保持 (知)健康を維持するための基本的な技能を身に付ける。 (思)状況に応じた健康維持の方法を実行する力を付ける。 (主)進んで協力動作を行う等、主体的に健康維持に努める。		
	5	1 健康の保持	43	2 心理的な安定 ○好きな活動や安心できる環境の選択 ○不安や緊張を感じた時の対処 ◆心理的に安定した生活を送ることができる	2 心理的な安定 (知)安定した生活を送るための基本的な対応法を身に付ける。 (思)状況の変化に応じて、適切な行動を選択する力を付ける。 (主)前向きに取り組もうとする意欲と態度を身に付ける。		
	6	3 人間関係の形成		50	3 人間関係の形成 ○コミュニケーション機器の活用 ◆人と関わる力を向上させる	3 人間関係の形成 (知)円滑な人間関係を築くための技能を身に付ける。 (思)場面に応じて適切なコミュニケーションを図る力を付ける。 (主)自分から進んで他者と関わろうとする態度を身に付ける。	
	7	4 環境の把握	29	4 環境の把握 ○音や光の刺激への対処 ◆周囲の環境を把握し対応する力を付ける	4 環境の把握 (知)周囲の状況を把握し、適切に対応できる力を身に付ける。 (思)周囲の状況を把握し、適切な行動を選択する力を付ける。 (主)主体的に周囲の環境に応じた行動をしようとする。		
二学期	9	5 身体の動き	44	5 身体の動き ○上肢・下肢の可動域を広げる運動 ○歩行 ○手指の操作 ◆基本的な姿勢や動きを身に付ける	5 身体の動き(●★共通) (知)基本的な姿勢や移動・作業に必要な動きを身に付ける。 (思)自分の身体の状況に応じて、適切な動きを行う力を付ける。 (主)意欲的にできることを増やそうとする。		
	10前半	6 コミュニケーション		19	6 コミュニケーション ○コミュニケーション機器等を使った意思表示 ◆コミュニケーション能力を向上させる ★自立活動(自立活動室)	6 コミュニケーション (知)状況に応じたコミュニケーション手段を身に付ける。 (思)自分の気持ちや考えを適切に伝える力を付ける。 (主)自分の思いを伝えようとする態度を身に付ける。	

期	月	単元(題材)名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	《通年》 個に応じた取り組み 1 健康の保持	22	●自立活動(教室) 1 健康の保持 ○体位変換やストレッチ ○姿勢の保持 ○水分補給 ○排せつ ○排痰 ○医療的ケア ◆健康を保持するために必要な能力を身に付ける	1 健康の保持 (知)健康を維持するための基本的な技能を身に付ける。 (思)状況に応じた健康維持の方法を実行する力を付ける。 (主)進んで協力動作を行う等、主体的に健康維持に努める。
	11	2 心理的な安定	43	2 心理的な安定 ○好きな活動や安心できる環境の選択 ○不安や緊張を感じた時の対処 ◆心理的に安定した生活を送ることができる	2 心理的な安定 (知)安定した生活を送るための基本的な対応法を身に付ける。 (思)状況の変化に応じて、適切な行動を選択する力を付ける。 (主)前向きに取り組もうとする意欲と態度を身に付ける。
	12	3 人間関係の形成 4 環境の把握	44	3 人間関係の形成 ○コミュニケーション機器の活用 ◆人と関わる力を向上させる 4 環境の把握 ○音や光の刺激への対処 ◆周囲の環境を把握し対応する力を付ける	3 人間関係の形成 (知)円滑な人間関係を築くための技能を身に付ける。 (思)場面に応じて適切なコミュニケーションを図る力を付ける。 (主)自分から進んで他者と関わろうとする態度を身に付ける。
三 学 期	1	5 身体の動き	33	5 身体の動き ○上肢・下肢の可動域を広げる運動 ○歩行 ○手指の操作 ◆基本的な姿勢や動きを身に付ける	4 環境の把握 (知)周囲の状況を把握し、適切に対応できる力を身に付ける。 (思)周囲の状況を把握し、適切な行動を選択する力を付ける。 (主)主体的に周囲の環境に応じた行動をしようとする。
	2	6 コミュニケーション	43	6 コミュニケーション ○コミュニケーション機器等を使った意思表示 ◆コミュニケーション能力を向上させる	5 身体の動き(●★共通) (知)基本的な姿勢や移動・作業に必要な動きを身に付ける。 (思)自分の身体の状況に応じて、適切な動きを行う力を付ける。 (主)意欲的にできることを増やそうとする。
	3	(訪問)	39	★自立活動(自立活動室) ○体位変換やストレッチ ○排痰 ○上肢・下肢の可動域を広げる運動 ○姿勢の保持 ○立位 ○歩行 ○手指の操作 ◆基本的な姿勢や動きを身に付ける	6 コミュニケーション (知)状況に応じたコミュニケーション手段を身に付ける。 (思)自分の気持ちや考えを適切に伝える力を付ける。 (主)自分の思いを伝えようとする態度を身に付ける。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> 生徒の体調を十分に把握して、日々の指導を行う。 補助具やコミュニケーション機器、写真カード等を使用して、自分から活動できるようにする。 生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。 生徒が興味をもてるような課題を設定し、教材を工夫する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	187 単位時間
年間指導目標	(知)身の回りの生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付ける。				
	(思)挨拶や簡単なコミュニケーションを場面に応じて行えるようにする。				
担当教職員	(学)自分のことに取り組もうとする意欲を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	《通年》 (基本的生活習慣) 衣服の着脱	16	○衣服の着脱 ◆協力動作をすることができる。	(知)衣服の着脱の際に、協力動作ができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて協力動作ができる。 (主)自分から協力動作をしようとする。
	5	排せつ 摂食	18	○排せつ ◆自分で排せつをしたり、協力動作をしたりすることができる。	(知)おむつ替え等排せつの際に、協力動作や排せつができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて協力動作や排せつができる。 (主)進んで協力動作や排泄をしようとする。
	6	清潔 (社会生活に必要な習慣)	21	○摂食 ◆安全に摂食することができる。	(知)安全に水分の摂取や食事を行うことができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて、適切に摂食ができる。 (主)楽しみながら意欲的に摂食をすることができる。
	7	あいさつ	12	○あいさつ ◆自分なりの方法であいさつができる。	(知)自分なりの方法で、あいさつをすることができる。 (思)相手や場面に応じて、あいさつをすることができる。 (主)自分からあいさつをする。
二 学 期	9	(学校生活における活動) 係活動	18	○係活動 ◆自分の役割を知り進んで活動に取り組むことができる。	(知)自分なりの方法で、係活動に取り組むことができる。 (思)自分の役割が分かり、活動に取り組むことができる。 (主)進んで係活動に取り組む。
	10 前半		8		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二期	10 後半	《通年》 (基本的生活習慣)	9	○衣服の着脱 ◆協力動作をすることができる。	(知)衣服の着脱の際に、協力動作ができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて協力動作ができる。 (主)自分から協力動作をしようとする。
	11	衣服の着脱 排せつ 摂食	19	○排せつ ◆自分で排せつをしたり、協力動作をしたりすることができる。	(知)おむつ替え等排せつの際に、協力動作や排せつができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて協力動作や排せつができる。 (主)進んで協力動作や排泄をしようとする。
	12	清潔 (社会生活に必要な習慣)	18	○摂食 ◆安全に摂食することができる。	(知)安全に水分の摂取や食事を行うことができる。 (思)介助者の言葉掛けに応じて、適切に摂食ができる。 (主)楽しみながら意欲的に摂食をすることができる。
三期	1	あいさつ (学校生活における活動)	13	○あいさつ ◆自分なりの方法であいさつができる。	(知)自分なりの方法で、あいさつをすることができる。 (思)相手や場面に応じて、あいさつをすることができる。 (主)自分からあいさつをする。
	2	係活動	18	○係活動 ◆自分の役割を知り進んで活動に取り組むことができる。	(知)自分なりの方法で、係活動に取り組むことができる。 (思)自分の役割が分かり、活動に取り組むことができる。 (主)進んで係活動に取り組む。
	3		17		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた取り組みを行う。 ・年齢に応じた指導を行う。 ・体調を十分に把握して日々の指導を行う。 ・外部専門員による摂食評価・摂食指導を指導に反映する。 ・摂食指導の中で、適切に歯磨き指導を行う。 ・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	110 単位時間
年間指導目標	(知) 様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心をもち、生活において基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思) 季節行事などを通して自然の変化や季節、日本の文化を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 (学) 繰り返し活動する中で自分のすべきことや役割に気付き、意欲的に身体を動かして活動する。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:戸澤理乃、島田篤弘、松木克美、清宮衛介、川越奈都美、横山敦子(訪問) 学校介護職員:影山純子 平田篤子				
使用教科書	しばわんこの和のこころ(白泉社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	野菜や植物を育てよう 季節の製作(訪問)	9	○屋外での栽培活動や収穫活動、屋内での観察や実験・作品作り ◆植物や自然に触れ、変化に気付いて関わる。	(知) 植物の育ち方や世話の仕方を理解する。 (思) 成長の変化を観察し、気付いたことを表現する。 (主) 責任をもって育てる意欲をもち、活動を継続する。
	5	社会見学の準備をしよう	11	○社会見学の事前学習、事後学習 ◆社会見学の内容に見通しをもち、体験したことを振り返る。	(知) 見学先や行程、公共マナーなどを理解する。 (思) 自分の役割や行動を把握し、準備を進める。 (主) 社会参加への期待をもち、主体的に準備に取り組む。
	6	梅雨を楽しもう 花や野菜の栽培	14	○制作活動、ゲーム、水やり、収穫 ◆梅雨をテーマに、見る・触れる経験を通して制作活動に参加する。 ◆花や野菜に触れたり見たりして、栽培活動に参加する。	(知) 梅雨の特徴や気象の変化を知る。 (思) 雨の日の過ごし方を考える。 (主) 季節の変化を楽しもうとする態度をもつ。
	7	紙すき はがきをつくろう (訪問)	6	○変化する素材に働きかけて紙すきを行う。 紙をちぎる、溶かす、すく、乾かす、装飾・デザイン ◆素材に触れ、変化を感じながら形づくりに関わる。	(知) 紙漉きの材料・道具の使い方を知る。 (思) 手順を考えながら、自分のデザインを工夫する。 (主) 集中して取り組み、完成の達成感を味わう。
二 学 期	9	修学旅行に行こう	10	○行程確認、荷物準備、事前学習、旅行体験 ◆見通しをもって活動に参加し、体験に応じて反応を示す。	(知) 旅行の計画やマナー、移動の仕方を理解する。 (思) 旅先での行動を考え、状況に応じた判断をする。 (主) 仲間と助け合いながら活動に積極的に参加する。
	10 前半	野菜や植物を収穫して活用しよう	5	○収穫した野菜の活用 ◆収穫した野菜を使い、調理する、触れるなどの活動に参加する。	(知) 収穫のや調理方法を知る。 (思) どのように使うかを考え、調理や加工を工夫する。 (主) 自ら関わった成果を楽しみ、活動に意欲をもつ。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	野菜や植物を収穫して活 用しよう	6	○収穫した野菜の活用 ◆収穫した野菜を使い、調理する、触れるなどの活動に参加する。	(知) 収穫のや調理方法を知る。 (思) どのように使うかを考え、調理や加工を工夫する。 (主) 自ら関わった成果を楽しみ、活動に意欲をもつ。
	11	英語学習 Assistant Language Teacher(ALT)との学習	12	○英語の歌、身体活動など ◆英語の音やリズムに慣れ、楽しく活動に参加する。	(知) 挨拶や簡単な英語表現に慣れる。 (思) 英語を使って自己紹介や表現を工夫する。 (主) 新しい言語に興味をもち、楽しく学ぼうとする。
	12	冬を感じよう (訪問)	9	○飾り作り、冬の行事 ◆冬の行事に親しみ、飾りづくりを通して制作活動に取り組む。	(知) 冬の行事や衣食住の工夫を知る。 (思) 季節の行事に合わせて活動を計画・表現する。 (主) 季節を味わい、仲間と楽しく活動する。
二 学 期	1	新年を祝おう (訪問)	7	○書き初め、年賀状作り、もちつき体験 ◆正月の行事に親しみ、書き初めや年賀状づくりに関わる経験を積む。	(知) 正月の行事や風習を知る。 (思) 新年を祝う活動を工夫して楽しむ。 (主) 新しい年への期待をもち、前向きに活動する。
	2	リサイクル活動をしよう	12	○紙・ペットボトルの再利用、エコ工作、校内掲示 ◆紙やペットボトルなどの身近な材料に触れ、再利用した制作活動に関わる。	(知) 分別や再利用の仕方を知る。 (思) 不要物の活用方法を考え、作品に工夫を加える。 (主) 環境を大切にす意識をもって取り組む。
	3	卒業生を送ろう (訪問)	9	○飾り作り、メッセージカード作成 ◆卒業生への思いをもち、飾りやメッセージカードで表したり伝えたりする。	(知) 行事の準備や進行の方法を知る。 (思) 送る会の内容を考え、表現を工夫する。 (主) 仲間を思いやり、心をこめて活動する。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・個々の個性・長所をさらに伸ばすような関わりや言葉掛けを大切にして指導にあたる。 ・個々に合った教材教具を用意し、活動に取り組みやすいように配慮する。 ・季節を感じられるような題材を用意する。 ・外国語の授業を通して外国の文化に触れる。 	